



桃太郎便

AZ-COMレポート

第42期 中間報告書

2014年4月1日～2014年9月30日



株式会社丸和運輸機関

証券コード：9090

“お客様第一義”を基本に、
サードパーティ・ロジスティクス業界のNo.1企業を目指し、
同志の幸福と豊かな社会づくりに貢献する。

桃太郎文化（企業文化）

お客様に対する懸命なる努力は自らの成長と仲間の幸福につながる

桃太郎文化とは

私たちが創業以来40年以上にわたり創造・共有してきた企業文化、それが“桃太郎文化”です。この桃太郎文化は、現在では組織の奥深くまで浸透した揺るぎない企業文化に成長し、組織が共有する価値観や信条、伝統、そして経営理念に至るまで、あらゆる企業活動の基盤になっています。私たちの全ての行動規範は、この“桃太郎文化”から始まります。

“桃太郎文化”は、理解するだけでなく、納得し、実践することで、初めて企業文化として根づくことができます。

私たちは、仕事へ取り組む際はもちろんのこと、身近な場面でも“桃太郎文化”を意識しながら、行動＝考働していかなければなりません。

こうした考働の際の規範となるものが、創業の精神である「何事もやればできるの精神」と、これに「人との出会いを大切にする」「心から喜ばれるサービスを提供する」の2つを加えた3つの心得です。

【心得その壹】 何事もやればできる

【心得その貳】 人との出会いを大切にせよ

【心得その参】 心から喜ばれるサービスを提供せよ



ご挨拶

株主の皆様には、平素より丸和運輸機関グループに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第42期中間期の事業概況についてご報告するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

このところのわが国経済は、政府による経済政策や、日本銀行による金融緩和策を背景とした円安傾向や長期金利の低下などの影響で、輸出関連産業を中心に企業業績も回復の兆しが見えてまいりましたが、先の消費増税の駆け込み反動からの回復が遅れていることや、資源・原材料を中心とした輸入価格の上昇、そして消費に直結する実質可処分所得の上昇ペースが鈍いことなど、いまだ多くの課題も残されています。われわれ物流業界においても、燃料価格をはじめ、人材や車輛不足を背景とした物流コストの上昇が収益性を圧迫するなど、厳しい経営環境でありました。

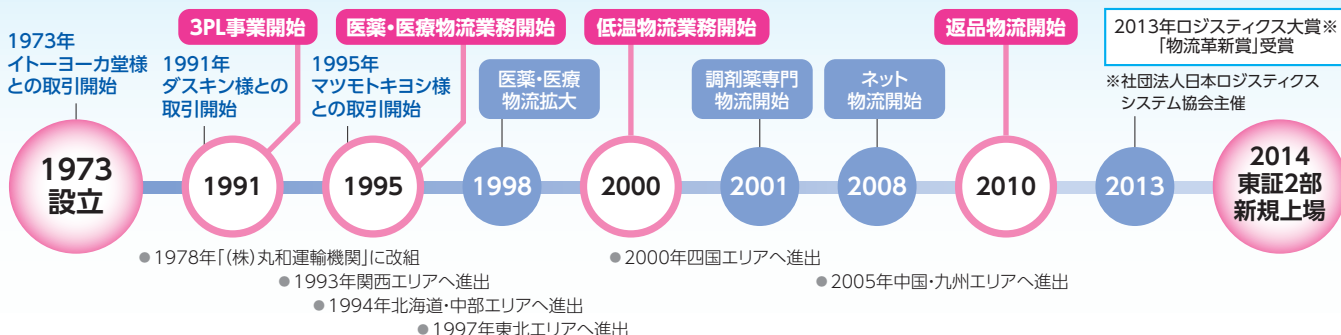
このような環境の中、当社は本年4月8日、念願の株式上場を果たしました。そして多くの株主の皆様当社の株式を保有していただきましたことを、丸和グループ代表としてまずは御礼申し上げます。誠にありがとうございます。このような環境下ではありますが、当社グループは株主の皆様のご期待に添うよう、全役職員一丸となって小売業特化型3PL企業としての社会的責任を果たすと同時に、低温食品物流の新規開拓、ローコストオペレーションによる安定的利益の創出を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも一層のご支援、お引き立てを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2014年12月 代表取締役社長

和欣見 謙

History



社長インタビュー

2015年3月期第2四半期の業績について および2015年3月期の業績見通しについてお聞かせください。

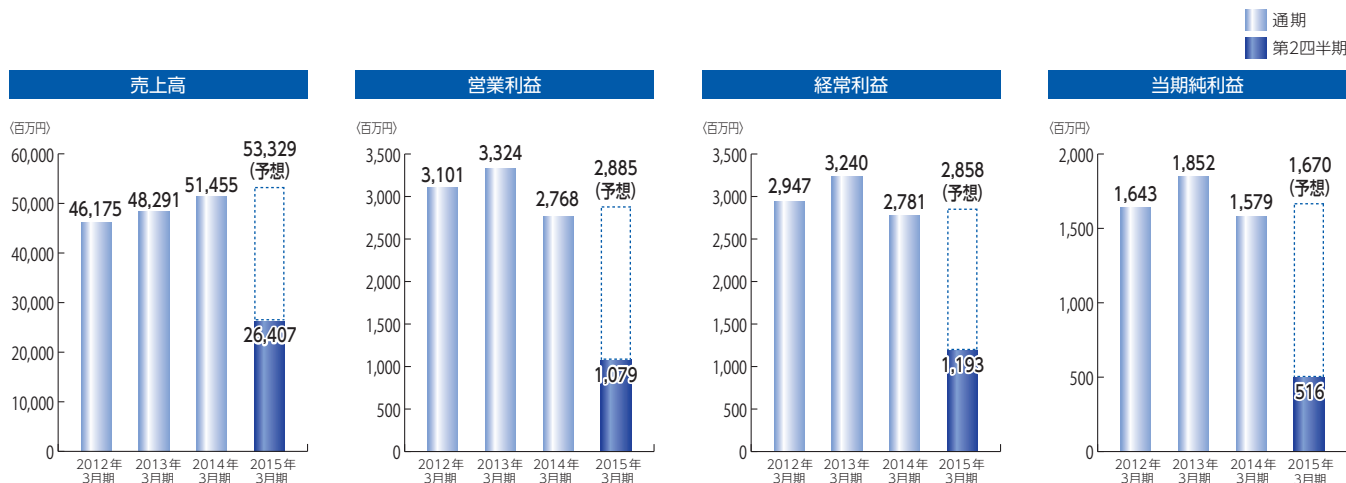
当社グループの当第2四半期における連結業績（累計）は、売上高は264億7百万円、営業利益は10億79百万円、経常利益は11億93百万円、四半期純利益は5億16百万円となりました。

今期上半期は消費税の引き上げによる影響や、燃料費の高騰、電気料金の値上げ、人員や車輛不足に伴う売上原価の上昇により、厳しい経営環境にありました。特に第1四半期においては、消費増税による駆け込み需要に伴う全国的な配送混乱状況下において、大幅な経費増加となりました。そのような状況を踏まえ、車輛稼働率や回転率、人員の生産性の向上など、ローコストオペレーションに努めた結果、前年に開設した大型物流センターの本格稼働もあり、本年5月に公表しました業績予想を売上高で

3億95百万円、営業利益で7百万円、経常利益で1億43百万円、四半期純利益で12百万円上回ることができました。

2015年3月期の業績の見通しにつきましては、売上高は533億29百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は28億85百万円（前年同期比4.2%増）、経常利益は28億58百万円（前年同期比2.8%増）、当期純利益は16億70百万円（前年同期比5.7%増）を計画しております。

第3四半期（10月から12月）は、ドラッグストアやスーパーマーケットの物量が1年でもっとも増加する時期となることや、ネット通販の拡大が期待できることから、十分に達成できる数字であると見ております。



丸和運輸機関の強みについてお聞かせください。

市場規模約2兆円、年率8.5%で成長している3PL（サードパーティ・ロジスティクス）業界の中で、小売業に特化しているのは当社だけです。私は当社創業以前には青果店を経営し仲買の経験もあることから、小売業の目線でサービスを提供することができます。また、小売業の物流領域をワンストップで提供できることも強みに挙げられます。入庫から店舗配送、ネットスーパー宅配や家具の組立などまで、一気通貫で物流サービスを提供することが可能であり、そのことがお客様から厚い信頼を寄せていただける主な要因となっております。国内トップクラスの小売業I社様との取引は42年におよんでいます。

さらに、高質なサービスを低コストで提供できることも強みです。当社は物流センターの運営は自社運営を基本としており、高度な現場力を身につけた自社の社員で行うからこそ高質なサービスを低コストで提供することが可能になり

ます。現場に自社の社員を置くことで、お客様の要望を迅速に反映することもでき、業務の効率化も可能になり、結果として、低コストにもつながります。

また、当社では、新卒社員の積極的な採用を行い、若返りを進めておりますが、これもコストの低減に効果があります。業界の平均年齢は43歳ですが、当社は37歳となりました。さらに5年後には平均年齢31歳を目指します。当社では「企業は人なり」「人の成長なくして企業の成長なし」の考えにもとづき、社員教育にも力を入れております。社内教育の一環として「丸和ロジスティクス大学」を1997年に開講しました。それ以来、社員のスキルレベルに合わせた各研修プログラムにおいて小売業・物流に関する高度な専門知識の習得や情報の蓄積・分析を行い、豊富な実務経験を共有することで現場力、営業力、提案力を養っております。

当社の特長

ワンストップサービスの提供

- ・ネットスーパー宅配までカバーした独自のサービス
- ・質が高く若い「人財」で顧客満足と生産性向上

高付加価値サービス

- ・高品質のサービスによる大手小売業からの厚い信頼
- ・小売業の本質を理解した高い競争力

専門人財と専門教育

- ・独自の人財教育システム
- ・新卒社員の積極採用による「若返り」を促進

小売業特化型物流企業として国内トップクラス

今後の事業展開について お聞かせください。

今後は、低温食品物流への取り組みを強化してまいります。低温物流には温度管理が必要で、冷蔵庫や冷凍庫といった設備投資をしなければなりません。経営資源を集中させ、中期的な収益貢献を目指してまいります。

また、新規顧客開拓への取り組みとして、経営をサポートする仕組みを含んだ、物流ソリューションの提供が可能となる当社開発の7つの高付加価値サービス、『7PL（セブン・パフォーマンス・ロジスティクス）』の提案を強化してまいります。

最後に、BtoCには多くの可能性があります。当社はネットスーパーの個人宅配では首都圏を中心にトップクラスの実績があります。ネット通販市場は2013年度の時点で11兆円と、コンビニの9兆円を超えています。ネット通販は今後さらなる伸びが見込まれるため、小売業の中には専用センターを開設するといった動きがでてくるでしょう。



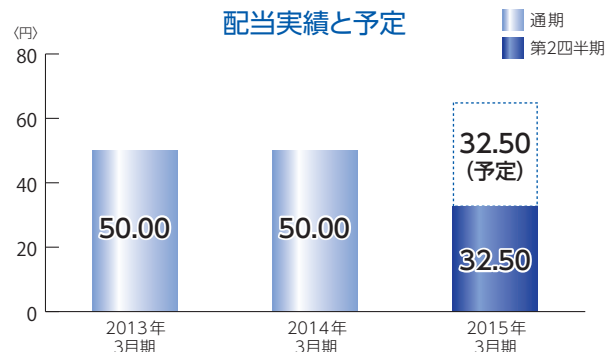
株主へのメッセージを お願いいたします。

当社は、収益に応じた株主様への還元を重要課題として、積極的に配当を実施することを基本方針としており、今後も配当性向30%を目標にして、株主の皆様喜んでいただける企業経営を行ってまいります。

当第2四半期の利益配当金につきましては、株式分割前につき、1株当たり65.00円とさせていただきます。期末配当金につきましては、32.50円を予定しております。

また、本社のある地元・埼玉県の皆様に喜んでいただける地域貢献も継続して行ってまいります。

当社は、小売業に特化した3PL企業として日本でのトップ企業を目指しておりますが、海外、特にアジアの食品の安全・安心に貢献していきたいという思いもあります。このような大きな夢を実現させるためにも、役職員一同全力を尽くしてまいり所存ですので、株主の皆様には、末永くご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



当社は、2014年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たりの指標の推移を記載しております。

連結財務諸表

※金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表（要旨）

（単位:百万円）

科 目	当第2四半期末 2014年9月30日現在
【資産の部】	
流動資産	14,075
固定資産	18,030
有形固定資産	14,961
無形固定資産	753
投資その他の資産	2,315
資産合計	32,106
【負債の部】	
流動負債	10,387
固定負債	10,083
負債合計	20,471
【純資産の部】	
株主資本	11,692
その他の包括利益累計額	△57
純資産合計	11,634
負債純資産合計	32,106

連結損益計算書（要旨）

（単位:百万円）

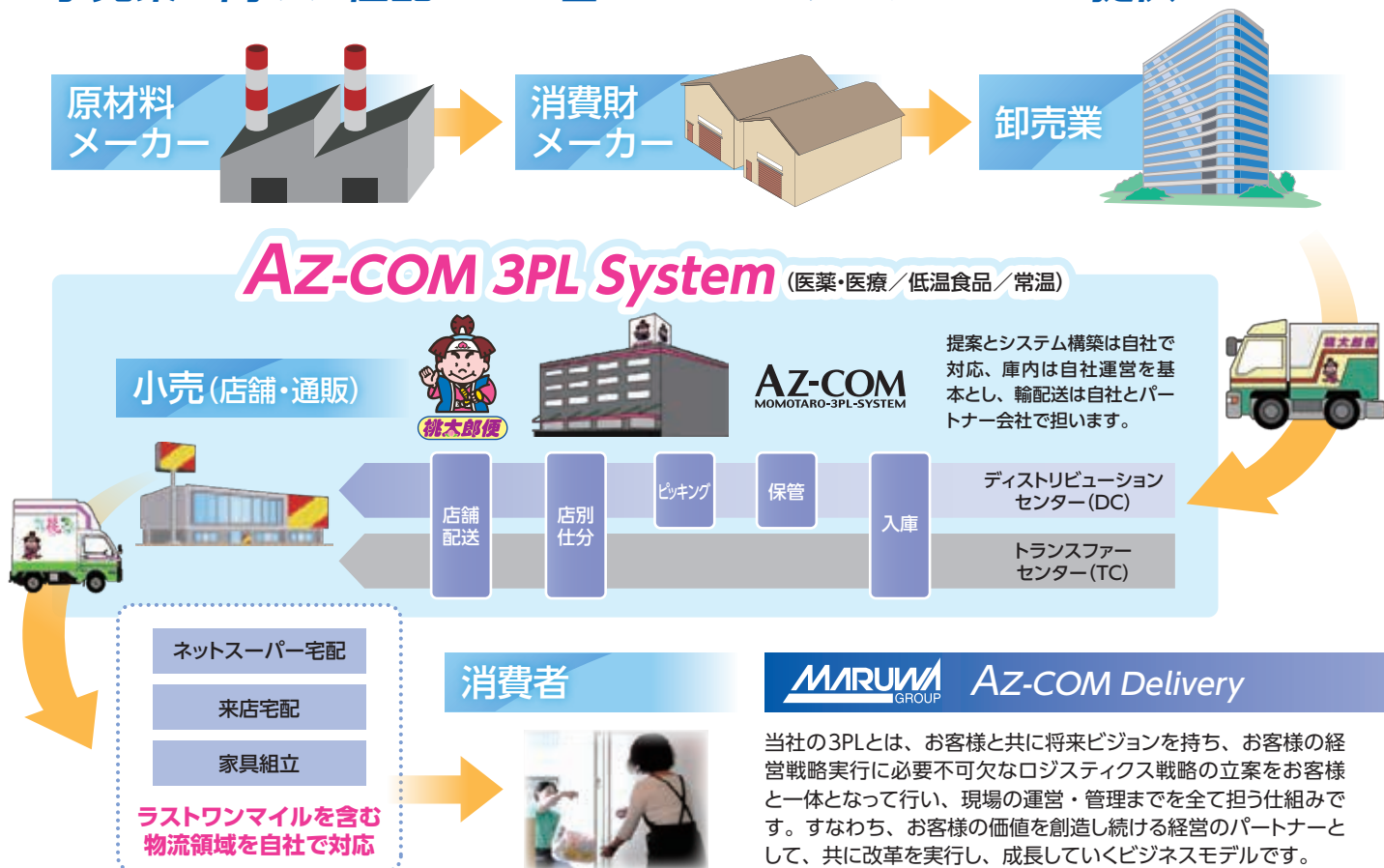
科 目	当第2四半期累計期間 自 2014年4月 1 日 至 2014年9月30日
売上高	26,407
売上原価	23,714
売上総利益	2,692
販売費及び一般管理費	1,612
営業利益	1,079
営業外収益	217
営業外費用	103
経常利益	1,193
税金等調整前四半期純利益	1,193
法人税等	677
四半期純利益	516

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位:百万円）

科 目	当第2四半期累計期間 自 2014年4月 1 日 至 2014年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△844
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,030
現金及び現金同等物の期首残高	6,180
現金及び現金同等物の期末残高	7,210

小売業に向けた個配までを含むワンストップサービスを提供



3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業者とは

第三者の立場でお客様に対して専門的立場に立ってロジスティクスシステムサービスを戦略的に提供する事業者のことを指します。すなわち、荷主企業に代わって、アウトソーシング化の流れの中で物流部門を代行し、「物の流れ」を経営戦略的に効率化させることがサードパーティ・ロジスティクス事業者の役割です。

Az-com(アズコム)とは

A～Z全てのロジスティクスに関して、お客様がお困りになっている問題・課題などを、お互いのコミュニケーション(COM)・対話を図りながら解決していくという考え方です。

桃太郎便の若手活躍で成長するネットスーパー

高成長を続けるネットスーパー市場において、当社はパイオニアであり、リーディングカンパニーです。当社では、ネットスーパー事業に着手していない企業に「当日お届けサービス」を提案し、将来的にはネットスーパー事業への展開を図ります。



「当日お届けサービス」強化策

- 1 既存顧客で培ったノウハウを武器に新規顧客開拓に注力
- 2 毎年200名以上の新卒採用計画に対し、内60名をネットスーパー事業に配置。若く快活なイメージで顧客企業と消費者からの評価アップ
- 3 店舗でのピッキングから車輛への積み込みまでの効率化を顧客に提案
- 4 当社のサービスセールスマンは「若い」「礼儀正しい」「清潔感がある」「ミスがない」というこれまでの評価を最大限に活かす

高付加価値サービスを提供し、
顧客販売戦略に合わせた物流システムを構築

ネットスーパーは配達ではなく、 『お届け』ビジネス

【 ネットスーパーの業務拡大
＝人財（サービスセールスマン）強化戦略 】



担当者紹介



私は現在入社2年目で1社様のネットスーパー事業を担当しております。入社1年目にはサービスセールスマンとして、インターネットでお買い上げいただいた生鮮食品などのお品物を直接ご自宅にお

池田 良弥

(株)ジャパンクイックサービス
さいたま営業所
2013年入社。24歳。

届けしていました。お届けの際には、当社の企業文化である桃太郎文化、とりわけ「明元素」めいげんそ（明るく、元気、素直）を意識して笑顔でお客様と接することを常に心がけて実践してきました。これからもお客様に感動と満足をご提供できるサービスレベルの向上に努めてまいります。

Topics 1 東証2部へ上場しました

2014年4月8日、当社株式は東京証券取引所 市場第二部へ新規上場いたしました。当日は東証アローズにて記念セレモニーが開催され総勢50名が参加いたしました。セレモニー中に行われた打鐘は5回と決まっており、代表取締役の和佐見が1回打鐘し、その後の4回は若手の課長職8名が2人1組で臨みました。これからの丸和グループを引っ張っていく若手社員の代表として、8名は上場の喜びと社会的責任を胸に刻みました。今般の株式上場を機に、役職員一同決意を新たに、さらなる成長ステージに向けての取り組みを加速させ、これまで以上に皆様のご期待に添うよう努力してまいります。



Topics 2 吉川なまずの里マラソンを応援しています

吉川なまずの里マラソンは、毎年4月に埼玉県吉川市で行われているマラソン大会です。全国各地から7,000人以上が参加する大規模なイベントで、ハーフマラソン、10km、5km、3km（中学生）、2km（小学生・親子・車いす）の種目があります。第19回大会となった今年は4月6日（日）に開催され、当社の社員も出場いたしました。当社は1996年の第1回大会より特別協賛（スポンサー）企業として支援しております。今後も引き続き、数多くのイベントや活動への支援を通じて、地域と企業の共存繁栄を願って取り組んでまいります。



Topics 3 文書保管センターの新棟建設／長崎県にも営業所を新規開設

【株アズコムデータセキュリティ】

文書保管センターの新棟建設が埼玉県秩父市にて着工し、11月7日に地鎮祭を執り行いました。こちらは同社4棟目のセキュリティセンターとなり、契約書や申込書などのオフィス文書をはじめ、マイクロフィルム、絵画などの機密性や希少性の高い保管物を預かる堅牢性の高いセキュリティセンターとなっております。

10月20日には長崎県に営業所を開設いたしました。ビジネス・プロセス・アウトソーシング（BPO）事業をメインとして、データ入力、電子化、コールセンター業務等を積極的に展開し、さらなる業績拡大と地元雇用の確保に努めてまいります。



会社概要 (2014年9月30日現在)

Corporate Data

社 名 株式会社丸和運輸機関
本社所在地 〒342-0008
埼玉県吉川市旭7番地1
TEL：048-991-1000 FAX：048-991-1001
設 立 1973（昭和48）年8月
資 本 金 20億5,210万4,000円
事業内容 サードパーティ・ロジスティクス(3PL)事業 等
従業員数 連結5,848名（内パート3,439名／年間平均雇用人数）
事業所 全国104ヶ所（全グループ含む）
埼玉、東京、神奈川、千葉、茨城、群馬、栃木、
北海道、岩手、宮城、愛知、大阪、京都、福井、
兵庫、滋賀、岡山、広島、高知、福岡 他

役 員 代表取締役社長 和佐見 勝
取締役 山本 輝明
取締役 吉井 章
取締役 鈴木 重行
取締役 平本 研二
取締役 藤田 勉
取締役 河田 和美
取締役 小倉 友紀
取締役 橋本 英雄
取締役 廣瀬 權
監査役 藤原 俊彦
監査役 田中 茂
監査役 岩崎 明
(2014年11月13日現在)

株式の状況 (2014年9月30日現在)

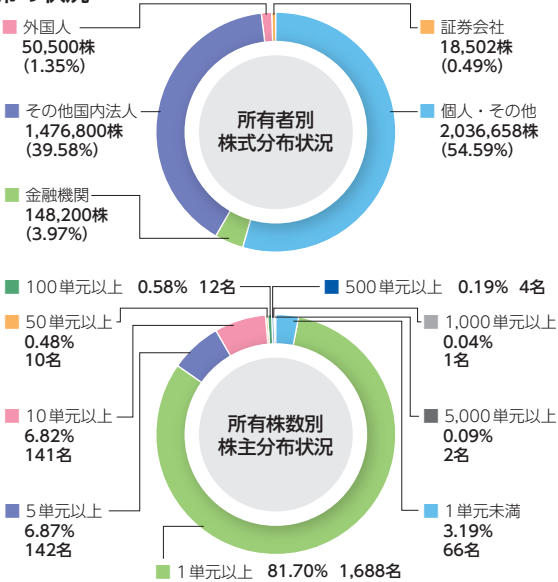
Stock Information

発行可能株式総数 12,000,000株
発行済株式数 3,730,660株
単元株式数 100株
株主数 2,066名

大株主の状況

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社WASAMI	1,310	35.11
和佐見 勝	1,188	31.84
丸和運輸機関社員持株会	120	3.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	97	2.62
株式会社マツモトキヨシホールディングス	50	1.34
株式会社ダスキン	50	1.34
トーヨーカネツソリューションズ株式会社	50	1.34
立澤 勝美	36	0.99
日本証券金融株式会社	34	0.92
和佐見 清	28	0.77

株式分布の状況





株式会社丸和運輸機関
〒342-0008 埼玉県吉川市旭7番地1
TEL: 048-991-1000



<http://www.momotaro.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
定時株主総会	毎年6月	電話照会先	0120-288-324 (フリーダイヤル)
株主確定基準日	毎年3月31日	公告掲載方法	当社の公告方法は、電子公告としております。 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.momotaro.co.jp/
剰余金の配当基準日	期末配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 上記のほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができます。	各種お手续の お取り扱いについて	1. 株主様の住所変更その他各種お手续につきましては、 原則としてお取引をされている証券会社等でのお取引扱いとなります。 2. 特別口座の株式に関するお手续につきましては、みずほ信託銀行でのお取り扱いとなります。
1単元の株式数	100株		
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 (http://www.mizuho-tb.co.jp) 東京都中央区八重洲一丁目2番1号		
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 東京都中央区八重洲一丁目2番1号		

